

## 大区画化されたほ場で野菜を導入、周年栽培体系を確立 ～茨城県茨城町 萩谷 喜一氏～

### 経営体の概要

事業実施前：平成20年  
基幹作物：水稲、ほうれんそう、らっきょう、  
ねぎ、スイートコーン等  
経営面積：5.7ha

現在：令和7年  
基幹作物：水稲、ねぎ、スイートコーン  
ブロッコリー等  
経営面積：12.0ha

### 土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

#### 【事業実施前】

●狭小不整形かつ排水条件が悪く  
ほ場も分散しており、  
非効率な営農条件。



#### 【現在】

●事業により、大区画・整形・汎用化された  
水田が整備されたことで、  
作業効率が向上し、営農  
条件が大幅に改善。



### 営農改善、経営転換等のポイント

#### ①規模拡大

就農当初は、水稲主体で5.7haの経営面積であったが、周辺の畑を借りて徐々に規模拡大を進める中、事業によって整備された大区画化ほ場では積極的に野菜を導入。現在では野菜作を中心に12haにまで経営面積が拡大。



萩谷氏、収穫した野菜

#### ②作物の変化

就農当初は、ほうれんそう、らっきょう、ねぎ、スイートコーンなどいろいろな作物を試行錯誤しながら栽培。その中で、ねぎは初期投資や経費を押さえて栽培できること、さらに、ねぎは作型も多いため、品種や作型をうまく組み合わせることで、年間を通して収穫等が可能となるのがメリットと考え、ねぎとスイートコーンを中心とした経営とした。



ねぎの栽培状況

#### ③収量・品質の向上

スイートコーンの栽培では、畝幅を180cmと広くする（通常は150cm）ことで、効率的・効果的な栽培管理が可能（風通しが良い＝病気に強い、作業がしやすい＝適正に作業）となり、糖度が18度以上を確保するなど品質の良いものを栽培するよう努めている。また、水田畑利用の場合は水持ちが良いので枯れることもなく、収量が1割程度高くなっている。



スイートコーンの栽培状況

### 事業概要

事業種：国営緊急農地再編整備事業  
関係市町：茨城県水戸市、東茨城郡茨城町  
受益面積：652ha  
事業期間：平成28年度～令和15年度  
事業目的：区画整理、用水改良  
主要工事：区画整理652ha、末端用水路109.5km、  
末端排水路69.8km、暗渠排水607ha  
幹線道路3km、支線道路

#### 位置図



茨城中部地区

#### <問い合わせ先>

関東農政局  
農村振興部農地整備課  
競争力強化事業推進担当  
電話：048-740-0116

（令和7年度調査時点）